

第1回鳥羽市部活動検討委員会

令和4年10月27日 午後6時30分～
鳥羽市民体育館 中会議室

1. 教育長あいさつ

2. 委員長・副委員長の選出

3. 自己紹介

4. 議長選出

5. 説明事項

(1) 鳥羽市部活動検討委員会の設置目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 1～P 3

(2) 休日の部活動の地域移行に向けた国等の状況・・・・・・・・・・・・・・・・ P 4～P 5

【国の方向性】

休日の運動部活動から段階的に地域移行していくことを基本とする。

○目標時期：令和5年度の開始から3年後の令和7年度末を目途

(合意形成や条件整備等のため更に時間を要する場合にも、地域の実情等に応じ可能な限り早期の実現を目指す)

(3) 市内中学校の部活の現状とアンケート結果・・・・・・・・・・・・・・・・ P 6～P 7

(4) 地域スポーツ団体の現状とアンケート結果・・・・・・・・・・・・・・・・ P 8～P 17

(5) 今後のスケジュール・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 18

6. その他

【別添資料】

- ・鳥羽市部活動検討委員会委員名簿及び会場レイアウト
- ・運動部活動の地域移行に関する検討会議提言の概要

鳥羽市部活動検討委員会の設置目的

令和2年9月に文部科学省から「学校の働き方改革を踏まえた部活動改革について」として、令和5年度以降、休日の部活動を段階的に地域に移行を図るとともに、休日の部活動の指導を望まない教師が部活動の指導に従事しないこととする方針が示された。こうした取り組みを受けて、令和3年10月より、「運動部活動の地域移行に関する検討会議」において集中的に検討が行われ、令和4年6月6日に提言が取りまとめられました。

本市においても、生徒にとって望ましい部活動の在り方と、学校の働き方改革を考慮した部活動の段階的な地域移行を進めるにあたり、鳥羽市部活動検討委員会の設置及び必要な事項を定めるため制定しました。

○目指す姿

将来にわたり子ども達がスポーツに親しめる機会の確保に向けて

鳥羽市部活動検討委員会設置要綱

(趣旨)

第1条 この要綱は、鳥羽市立中学校における部活動（以下「部活動」という。）の在り方を検討するため、鳥羽市部活動検討委員会（以下「検討委員会」という。）を設置し、検討委員会の組織及び運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(所掌事務)

第2条 検討委員会は、次の各号に掲げる事項について協議する。

- (1) 部活動の在り方に関すること。
- (2) 部活動の適正な運営及び推進に関すること。
- (3) 前各号に掲げるもののほか、部活動の在り方に関し、教育委員会が必要であると認める事項

(組織)

第3条 検討委員会の委員は、次の各号に掲げる者のうちから教育委員会が委嘱する。

- (1) 地域団体の関係者
 - (2) 鳥羽市立小中学校長
 - (3) 教職員の代表者
 - (4) 鳥羽市立小中学校保護者代表
 - (5) 教育行政等の関係者
 - (6) 前各号に掲げる者のほか、教育委員会が必要であると認める者
- (委員長及び副委員長)

第4条 委員会に委員長及び副委員長を置く。

- 2 委員長は、教育長をもって充てる。
- 3 副委員長は、委員のうちから委員長が指名する。
- 4 委員長は、会務を総理し、検討委員会を代表する。
- 5 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるとき又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(任期等)

第5条 委員等の任期は、委嘱されたときから検討委員会が解散したときまでとする。

ただし、委員等が就任時におけるそれぞれの所属機関又は所属団体の役職を離れたときは、その委員等は辞任したものとみなし、その後任者が前任者の残任期間を務めるものとする。

2 委員長は、委員等に特別な事情が生じたときは、その職を解き、必要に応じて補充することができる。

3 委員長は、前2項の規定により委員等に変更があったときは、次の会議において報告する。

(会議)

第6条 会議は、必要に応じて委員長が招集する。

2 会議の議長は、委員長又は委員長が指名した者がこれに当たる。

3 会議の議事は出席委員等の過半数をもって決し、可否同数の時は議長の決するところによる。

4 会議は、必要があると認めるときは、委員等以外の者の出席を求め、その意見、又は説明を聴くことができる。

5 委員長は会議を招集するいとまがないとき、又は会議の権限に属する事項で簡易なものについては、書類の回議をもって検討委員会の会議に代えることができる。

(報告)

第7条 委員長は必要に応じて検討委員会における審議の経過及び結果を教育委員会に報告するものとする。

(事務局)

第8条 検討委員会の事務局は、鳥羽市教育委員会に置く。

(委任)

第9条 この要綱に定めるもののほか、検討委員会の運営に必要な事項は、委員長が別に定める。

附 則

この規約は、令和4年7月29日から施行する。

スポーツ庁からの休日の地域移行の提言（2022.6.6）

1. 中学校の運動部活動を取り巻く状況

（1）少子化で学校単位のスポーツの場の確保が難しくなっている。

1986年（S61）：中学生589万人 中学校10,517校 教師28万人

2021年（R3）：中学生296万人 中学校 9,230校 教師23万人

部活動数はあまり減少していない。 ➡ 小規模化

（2）過熱化：勝利至上主義、長時間練習、生徒も教師も重圧

（3）教員の負担軽減 時間外勤務が月に100時間近い 残業手当なし

教職員調整額（1971年 特休法） 基本給の4%

休日部活動（特殊業務手当）2～4時間未満 1,500円

4時間 3,600円

中体連大会引率等7時間 3,600円

【教員の業務】

授業準備、ICT教育機器への対応、生活指導対応、不登校生徒対応、ノート点検、テスト作成、成績作成、通信作成、行事計画準備等々

➡ 教員志願者数減 ➡ 教育の質の維持、向上が課題

➡ 持続可能な部活動への移行が望まれる

2. 部活動の位置付けを規定する法律はない

（1）教育関連の法律の体系

日本国憲法 ➡ 教育基本法 ➡ 学校教育法 ➡ 学校教育法施行令・施行規則 ➡ 学習指導要領

（2）学習指導要領での記載

部活動については、最後の学習指導要領で「生徒の自主的・自発的な参加により行われる部活動」と書かれている。しかし、全国の3割の中学校が強制加入となっている。

（3）部活動を指導したい教員

教員の20%は部活動が指導したくて教員になった。（内田名大准教授調査）

・・・鳥羽市で兼職兼業希望者は9%

3. 学習指導要領の中での部活動の位置づけの変遷

1951年（S26）制定：特別教育活動として「クラブ活動」の規定が設けられたが、部活動の規定はなかった。

1977年（S52）改訂：「学校において計画する教育活動でクラブ活動と関連の深いものである部活動についても、適切に実施できるように配慮する必要がある」と規定が設けられた。

1989年（H元）改訂：「部活動に参加する生徒については、当該部活動への参加によりクラブ活動を履修した場合と同様の効果があると認

められるときは、部活動への参加をもってクラブ活動の一部又は全部の履修に替えることができるものとする」と規定され、正規の教育課程の特別活動の一つである「クラブ活動」の代替えとなりうるものと位置づけられた。

1998年（H10）改訂：H元の制度はH10改訂で**必修クラブが廃止**されたことに伴い、廃止となった。

2008年（H20）改訂：総則において、部活動の意義や留意すべき事項が初めて設けられ、「生徒の自主的、自発的な参加により行われる部活動については、スポーツや文化及び科学等に親しませ、、学校教育の一環として、教育課程との関連、、地域の人々の協力、、」更に、「持続可能な運営体制が整えられるようにするものとする」と追記された。

また、保健体育科では「今後の運動部活動は、、、3年間で幅広い経験ができるよう、複数の運動種目にも取り組むことができるようにしていく必要がある」と提言されている。

4. スポーツに求められるもの

1964年東京オリンピック：競技力向上

1980年代：荒れる中学校 ➡ 生活指導の一つとして

現代：多様性 ➡ スポーツが大好きな生徒、苦手な生徒、障がいのある生徒
多くの選択肢

部活動ガイドライン

鳥羽志摩校長会申し合わせ事項 概要

1. 練習時間は、平日が2時間程度、休日（土日、祝日、長期休業中）は3時間程度を限度とする。この場合の練習時間とは、実際に生徒が体を動かしている時間を言い、準備や片づけは含まない。また、休日に大会や練習試合を行う場合は、3時間を越えることを認める。
2. 平日に1日の休養日を設けること。
3. 土曜日、日曜日のどちらかを休みにすること。
*ただし土日に大会がある場合は
 - ①大会が土日と2日続く場合は、両日とも参加を認める。
 - ②大会が日曜日にあるため、前日の土曜日に3時間程度の練習をすることを認める。

*いずれの場合も大会後の翌日から2日の休養日を設定するものとする。

注1) 以上の申し合わせは原則とするが、いろいろなケースも極力この原則を崩さないことを前提とする。

2022年度 鳥羽市内中学校 部活動 部員数 夏以降

	1年生			2年生			合計					
	神島	答志	鳥羽東	加茂	神島	答志	鳥羽東	加茂	神島		答志	鳥羽東
軟式野球	神島											
	答志		6		3		9					
	鳥羽東		4		5		9					
	加茂		4		8		12					
	合計		14		16		30					
												男女3校
女子ソフトボール	神島											
	答志		2		3		5					
	鳥羽東											
	加茂											
	合計		2		3		5					
												女子1校
バドミントン	神島											
	答志	男1 女0	男1 女1	男2 女1								
	鳥羽東		女8	女16	女24							
	加茂											
	合計	男1 女8	男1 女17	男2 女25								
												女子2校 男子1校
女子バスケットボール	神島											
	答志											
	鳥羽東		7		1		8					
	加茂											
	合計		7		1		8					
												女子1校
卓球	神島											
	答志	男1 女2	男1 女1	男2 女3								
	鳥羽東	男11 女0	男6 女0	男17 女0								
	加茂	男7 女0	男3 女0	男10 女0								
	合計	男19 女2	男10 女1	男29 女3								
												男子3校 女子1校
女子バレーボール	神島											
	答志											
	鳥羽東		14		1		15					
	加茂		2		2		4					
	合計		16		3		19					
												女子2校
サッカー	神島											
	答志											
	鳥羽東		12		12		24					
	加茂											
	合計		12		12		24					
												男女1校
柔道	神島											
	答志											
	鳥羽東	男2 女0	男2 女1	男4 女1								
	加茂	男0 女1	男0 女0	男0 女1								
	合計	男2 女1	男2 女1	男4 女2								
												男子1校 女子2校
剣道	神島											
	答志											
	鳥羽東		1		3		4					
	加茂											
	合計		1		3		4					
												男子1校
男子陸上	神島											
	答志											
	鳥羽東		7		9		16					
	加茂											
	合計		7		9		16					
												男子1校
女子陸上	神島											
	答志											
	鳥羽東		2		4		6					
	加茂											
	合計		2		4		6					
												女子1校
フェンシング	神島											
	答志											
	鳥羽東	男6 女0	男1 女2	男7 女2								
	加茂											
	合計	男6 女0	男1 女2	男7 女2								
												男子1校 女子1校
男子ソフトテニス	神島											
	答志											
	鳥羽東		12		4		16					
	加茂											
	合計		12		4		16					
												男子1校
女子ソフトテニス	神島											
	答志											
	鳥羽東		4		5		9					
	加茂		2		8		10					
	合計		6		13		19					
												女子2校

部数 27

鳥羽市内中学校 生徒数

	1年生			2年生			3年生			合計		
	神島	答志	鳥羽東	加茂	神島	答志	鳥羽東	加茂	神島	答志	鳥羽東	加茂
2023年度 R5年度	神島		2		3		2		7			
	答志		9		9		8		26			
	鳥羽東		86		92		74		252			
	加茂		18		16		21		55			
	合計		115		120		105		340			
2024年度 R6年度	神島		1		2		3		6			
	答志		9		9		9		27			
	鳥羽東		76		86		92		254			
	加茂		19		18		16		53			
	合計		105		115		120		340			
2025年度 R7年度	神島		1		1		2		4			
	答志		4		9		9		22			
	鳥羽東		79		76		86		241			
	加茂		15		19		18		52			
	合計		99		105		115		319			

	1年生			2年生			合計					
	神島	答志	鳥羽東	加茂	神島	答志	鳥羽東	加茂	神島	答志	鳥羽東	加茂
文化	神島											
	答志											
	鳥羽東	男1 女1	男1 女1	男2 女2								
	合計	男1 女1	男1 女1	男2 女2								
												男女1校

鳥羽市部活動意識調査 2022. 7. 13

【職員 回答数135】

・部活指導員として休日に指導を希望する →《何部を希望》→

希望する	12人	9%
希望しない	88人	65%
まだわからない	35人	26%

バスケットボール	5人	ソフトボール	1人
野球	2人	卓球	1人
バドミントン	2人	全部活	1人

・部活動の休日の地域移行はどう思うか？

大いに賛成	56人	41%	} 79%
どちらかと言えば賛成	51人	38%	
どちらかと言えば反対	5人	4%	} 6%
反対	3人	2%	
よくわからない	20人	15%	

・部活動の平日の地域移行はどう思うか？

大いに賛成	50人	37%	} 78%
どちらかと言えば賛成	55人	41%	
どちらかと言えば反対	5人	4%	} 7%
反対	4人	3%	
よくわからない	21人	16%	

【中学1, 2年生 回答数203】

・あなたは部活動に満足していますか？

《鳥羽市全体》

	1年	2年	計	
大いに満足している	55%	38%	47%	} 79%
ほぼ満足している	28%	35%	32%	
普通	11%	18%	14%	} 7%
あまり満足していない	3%	6%	4%	
満足していない	3%	3%	3%	

・あればやってみたい活動は何ですか？ 複数回答可

活動	人	活動	人
バドミントン	53	プログラミング	43
ダンス	36	写真	32
バスケットボール	35	器楽	24
卓球	32	美術	24
ソフトテニス	28	海洋・生物	22
バレーボール	27	演劇	12
サッカー	24	合唱	10
陸上競技	18		
軟式野球	16	希望しない	23
体力づくり	16		
硬式テニス	13		
ソフトボール	10		
剣道	8		
フェンシング	6		
柔道	6		
相撲	4		

・例示以外に希望があれば書いてください 複数回答可

活動	人	活動	人
ボクシング	4	カードゲーム	4
eスポーツ	3	アニメ	2
スケートボード	3	建築・工作	1
水泳	2	漫画	1
空手	2	書道	1
競輪	1	技術	1
ハンドボール	1	料理	1
弓道	1	軽音楽	1
レスリング	1	科学	1
硬式野球	1	ロボコン	1
釣り	1	茶道	1

・休日の部活指導を先生以外がすることについて

大いに賛成	23%	} 61%
賛成	38%	
どちらでもない	26%	
あまり賛成ではない	8%	
賛成ではない	4%	

【小学校4, 5, 6年生 回答数350】

・中学生になったら放課後にどのような活動をやってみたいですか？ 複数回答可

活動	人	活動	人
バドミントン	103	プログラミング	73
バスケットボール	62	海洋・生物	70
陸上競技	61	写真	61
テニス	60	美術	57
サッカー	56	器楽	27
ダンス	52	演劇	21
野球	46	合唱	14
バレーボール	46		
卓球	45	希望しない	16
体力づくり	29		
フェンシング	26		
剣道	22		
柔道	13		
ソフトボール	12		
相撲	5		

・例示以外に希望があれば書いてください 複数回答可

活動	人	活動	人
ボルダリング・クライミング	3	料理	4
キックベース	1	人の役に立つこと	3
楽しいこと	1	書道	3
空手	1	読書	2
ボクシング	1	カードゲーム	2
レスリング	1	ピアノ	1
体操競技	1	小説	1
		服デザイン	1
		科学	1
		調査	1
		文化	1
		外国人歴史上人	1
		VR	1

鳥羽市内スポーツ関係団体(2022/10/27現在)

【スポーツ少年団】

	団体名	種目
1	鳥羽第一野球スポーツ少年団	軟式野球
2	答志野球スポーツ少年団	軟式野球
3	TOBA EAST Jr.スポーツ少年団	バレーボール
4	鳥羽武道館剣道スポーツ少年団	剣道
5	答志剣道スポーツ少年団	剣道
6	鳥武館柔道スポーツ少年団	柔道
7	長岡柔道スポーツ少年団	柔道
8	鳥羽フェンシングスポーツ少年団	フェンシング
9	鳥羽サッカースポーツ少年団	サッカー
10	極真会館三重橋本道場鳥羽支部スポーツ少年団	空手
11	鳥羽チアーズV.B.C.スポーツ少年団	バレーボール
12	鳥羽ミニバスケットボールクラブTCFミニ	ミニバスケットボール
13	鳥羽・ジュニアレスリングクラブ	レスリング
14	答志ジュニアレスリングクラブ	レスリング

※スポーツ少年団登録団員数：男・131名、女66名、合計197名

※スポーツ少年団指導者・役員・スタッフ：男45名、女12名(内有資格者42名)

【学校体育施設開放利用団体】

	団体名	種目
1	鳥羽1994(安楽島小学校)	バレーボール
2	久葵連(加茂小学校)	よさこい
3	フレンズ(加茂小学校)	バレーボール
4	伊勢志摩Let's(鳥羽小学校)	ソフトボール
5	プリティーウーマン(鳥羽小学校)	インディアカ
6	トレア(加茂中学校)	ソフトバレーボール
7	かもんず(加茂中学校)	バドミントン
8	鳥羽サンデーズ(鳥羽東中学校)	ソフトバレーボール
9	スリーピース(鳥羽東中学校)	ソフトバレーボール
10	安楽島クラブ(鳥羽東中学校)	バレーボール
11	古谷組(鳥羽東中学校)	バレーボール
12	ポルカFC(鳥羽東中学校)	サッカー
13	火曜サッカー部(鳥羽東中学校)	サッカー
14	Toba Dream Star's(鳥羽東中学校)	バレーボール
15	桃色(鳥羽東中学校)	ソフトバレーボール
16	T・T(鳥羽東中学校)	バドミントン
17	AQUA Futsal(旧長岡中)	フットサル
18	KBC(神島中学校)	バレーボール
19	OB(神島中学校)	バスケットボール

【体育協会】

	団体名
1	鳥羽市インディアカ協会
2	日本空手協会鳥羽道場
3	鳥羽市クレー射撃協会
4	鳥羽市グラウンドゴルフ協会
5	鳥羽市剣道協会
6	鳥羽市ゴルフ協会
7	鳥羽市サッカー協会
8	鳥羽市柔道会
9	鳥羽市スキークラブ
10	鳥羽市相撲連盟
11	鳥羽市ソフトテニス協会
12	鳥羽市ソフトボール協会
13	鳥羽市卓球協会
14	鳥羽市軟式野球連盟
15	鳥羽市バスケットボール協会
16	鳥羽市バドミントン協会
17	鳥羽市フェンシング協会
18	鳥羽市陸上競技連盟
19	鳥羽市レスリング協会

【総合型地域スポーツクラブ】

	団体名
1	答志島スポーツ・文化クラブ
2	長岡スポーツ文化クラブ

スポーツ少年団、体育協会加盟団体、PTA、消防団等を除くスポーツ団体のみ記載

休日の学校部活動の段階的な地域移行に係るアンケート調査結果（地域団体）

1. 回答 36 / 54 (回答率 67%) 団体、個人

2. 学校部活動との連携について

- (1) 連携していきたい 8 団体、個人
(答志野球、TOBA EAST Jr バレー、鳥羽フェンシング、鳥羽 Jr レスリングクラブ、レスリング協会、剣道協会、ソフトテニス協会、スポ推)
- (2) 連携したいが難しい 14 団体、個人
- (3) 連携は考えていない 5 団体、個人

【部活動と連携したい取組】

- ・剣道：鳥羽東中、答志中合同 10名 指導員4名 平日4日 土日どちらか1日
謝金は未定、複数の指導者で分担予定
- ・剣道：答志中 指導者3名 教員複数名 週2, 3回
- ・剣道：答志中、鳥羽東中合同
- ・バレーボール：鳥羽東中 11名 指導者1名 教員1名 土曜日
- ・フェンシング：中学校及び高校 20名 指導者3名 週4回 1h1000円は安い
- ・レスリング：中学校 休日の週1回 数人の指導者で指導予定
- ・軟式野球：市内全中学校 現在11名 指導者4名 週1回 謝金1h1000円
数名の指導者で指導予定

3. 意見

休日部活動連携の課題

(1) 剣道協会

- ① 費用は受益者負担が望ましい。
- ② 部活動ガイドラインを守らせるなら、客観的に監督、指導する部門が必要で、それは教育委員会が担うべき。
- ③ 中体連との関り。情報もなく、引率計画など立てにくい。
- ④ 受益者負担となった場合、負担額の少ない競技しか選べないことが出てこないか心配。

【解決策】

- ① 現競技団体が担うのではなく、別に地域部活動を運営する団体「地域部活動運営

団体」を組織して、そこが競技団体に各競技の部活動を依頼する体制が望ましい。保険の一括加入や受益者負担の均等化を考えて、その方がいい。

- ② 指導者については何らかの資格を設けて可能な限り有資格者が指導に当たるべき。
- ③ 部員が競技団体の会員でない場合も考えられるので、会員以外の競技団体からの支出は厳しい。謝礼なども「地域部活動運営団体」から出すようにした方が良い。

(2) 答志剣道スポ少

- ① 生徒数の減少、部がない、防具の確保、指導者の指導できる時間の制約。
- ② 部活として平日の日中、教員に指導してもらい、週3回のスポ少の練習に夜間参加し、大会に参加していければいいと思う。

(3) バドミントン協会

競技として部活動を指導できる人材は少ない。以前、指導していたことがあるが継続的に指導し続けることは難しい。気持ちはあるが、責任、役割分担、地域や競技によっても違う。

(4) グラウンドゴルフ協会

数人単位であれば対応できるが、部活動となればそれなりの人員、指導者が必要となり、当団体では対応できない。

(5) 陸上協会

大会出場となると協会への登録費、大会参加費の徴収とそれにとまなう会計業務などボランティアの範囲を越える責任が伴う。コロナ禍で現在は会費の集金なしで月2回活動しているが、これ以上となるとコーチの負担が大きくなりすぎる。

(6) 鳥羽フェンシングクラブ

指導者確保に苦慮する。地方で働く場所等の確保が欲しい。⇒常に使える練習場所の確保及び指導者の確保が難しい。就職先への優遇制度が欲しい。

(7) TOBA EAST Jr (バレー) スポ少

顧問の先生で未経験者が多く、技術指導が難しい気がする。

(8) 軟式野球連盟

まだ具体的な検討に至っていない。

(9) 鳥羽第一野球スポ少

- ① 指導者の勤務の都合で不在となる場合がある。(意欲はあるが勤務優先となる)ガイドラインでの活動時間では少なすぎると感じる。(休養日にスポ少の練習に参加していることもある)
⇒ 指導者が仕事と休日の指導が両立できる場を市が斡旋できないか?
- ② 平日の活動は各学校の先生が担当し、休日はクラブチームとして市内全体から集まり指導者を中心に活動する。

(10) 答志野球スポ少

① 指導者の確保

現在、市内全中学校の希望者を対象に軟式野球を指導、支援しています。

指導者の確保の面に関しましては、現在の参加生徒数で何とか足りている状態ですが、参加数が増えるとスタッフ数をもっと必要になってくる。

現状スタッフは4名いるが、常時指導に当たっているのは1名。ボランティアでの指導。常時指導に当たる人には謝金は必要になると考える。

② 会費を一人月1,000円徴収している。(保険代、ボール代、球場使用料)

もし休日の部活を地域移行するのであれば、鳥羽市は離島もあるので交通費の無料化や施設使用料の無料化もしくは資金援助が必要。学校単位で考えると団体競技を行う人数が足りなくなってくる。鳥羽市全域で1団体で活動してほしいです。

③ 自活動に際しまして学校関係者がスタッフとして協力してくれているため連携は取れている。しかし、各校の練習内容が異なるため生徒の疲労度がしっかり把握できないのが現状です。子どもたちが好きなことを精一杯できる環境になってくれることを希望します。

(11) 鳥羽 Jr レスリングクラブ (スポ少)

① 指導者は5名いますがみんな働いている。放課後に指導できる人材確保も必要。

② 会費を徴収して活動している団体なので、会費が必要となる。鳥羽高校が会場となるので、鳥羽高校の許可が必要。

③ 今回は休日の移行調査ですが、平日も考えると指導者の確保はどの競技も困難。平日の活動であれば、放課後だけでなく夜間も含んでもらえると指導者の人材は確保できる。

④ 活動の経費は発生する。受益者負担は必須だが、一定の支援は必要。支援については行政や国からの補助金、民間団体の助成金の活用など様々な方法を検討してもらいたい。

(12) サッカー協会

① 学校の部活の時間に活動可能な指導者がいない。(働いている、小学生を指導している、平日が特に困難) ⇒ 指導者を公募する。

② 伊勢サッカー協会と合併すれば指導者を確保できる可能性あり。クラブチーム(ISE YAMATO、FC ISE-SHIMA)への派遣依頼(有償)、小学校教員の活用。

(13) サッカースポ少

選手の減少に伴い指導者の数も減少し、指導者確保が困難。

⇒ 小中一貫のチームを作る。総合型地域スポーツクラブに移行する。

(14) 鳥武館柔道（スポ少）

当指導者は全てボランティアで指導しており、大会の引率についても自費で賄っている方が多い。活動経費やケガ、指導者の賠償保険等についても育成会(指導者も加入)の会費で賄っている。このような中で、学校部活動を加えるとなった場合、学校側の指導者に対する補償、大会引率、ケガや賠償保険等に対する対応等、学校側の考え方が見えていない中で連携を考えていくことは非常に難しい。

⇒ 現団活動内に組み入れて練習をすることを部活動として認めていただけるとあれば、連携は可能に近づくと思われるが、休日に部活をするとなると指導者の確保をはじめ、経費、ケガ、指導者の賠償保険などを学校で負担してもらうことが条件として出てくる。このことを考えていくと、学校側でまず専門指導員を採用し、活動や補償の体制を整えていった方が良い。

(15) スポーツ推進委員

指導者としての専門的な資質を持った人の確保。指導に掛かる経費の負担。学校施設を使用できるのか？指導者がガイドラインに沿った指導をできるのか？生徒のケガ等の責任をだれが負うのか？

(16) スポーツ推進委員

指導者の確保、経費の問題、持続性⇒企業からの支援、企業への税控除等

(17) スポ推

外部指導者と学校がどのように話し合っ指導の生かすのか？話し合う場、時間、謝金、休日のケガ、事故の対応、詳しい報告、保護者への説明などを誰がするのか？きっとスタートすると色々な課題が出てくると思うので、その窓口をどうするのか。

(18) スポーツ推進委員

指導者の絶対数が少ないと予想されるため、確保が難しい。もし確保できたとしても、その方の過重負担になる可能性がある。学校とも連携をどのように進めていくかも具体的に詰めていかなければならない。

(19) スポーツ推進委員

中学校統合が進む中、将来的にどのような部活動が存在するのか見通しが立たない状態では、何とも答えようがありません。ただ、現状として、高齢の指導者では体力的に厳しく、また、指導法も古臭いものであっては教育的意義に欠けますが、、、若い人で経験者で時間の都合のつく人となるとかなり限定的になります。

(20) スポーツ推進委員

初期の段階として、平日1日、休日1日を目指したいが、1クラブ2～3人の指導者が果たして確保できるか？できるとして、教師とどのように分担するのか？確かに教師としては平日1日、そして週末の2日間が部活指導を外部に任せられるのは魅力的ではあるが、外部指導者との連携も簡単なことではない。

⇒ まずは土曜日か日曜日のいずれかの日から始めて、うまくいけば平日1日へと進めばよい。また、子どもたちの負担も考えると、月曜日は完全に休部とし、火～金のうち1日を外部に担当してもらえれば、教師にとっても、土日月プラス1日となりかなりの負担減となる。

4. その他

(1) 総合型地域スポーツクラブ

教員と外部の指導者との関係性が大切になってくると思われます。しっかりした細かい規約が必要になってくるのではないのでしょうか。

(2) バドミントン協会

責任を伴うことになるため、地域で実施するにしても組織を作るなど、社会スポーツをどうするかも含めて、今後の鳥羽のスポーツ振興を考えて行かなければならないと思う。

(3) ソフトテニス協会

協会で指導者育成講座を開き、指導者を育てていかないと、地域への移行は難しいと思います。協会へ入っていない人へのアプローチも必要。鳥羽市も認定制度を作ってもいいと思います。

(4) 剣道協会

- ① 活動の財源、指導者の確保、組織体制（責任分担）の諸問題の解決が可能であれば「休日の学校部活動」を「地域部活動」として体制を作ることには可能ではあるが、学校部活動(平日)と地域部活動(休日のみ)と二つ体制で、方針・目的が異なる状態が生じると本来の「部活動」で学ぶ意味も薄れてしまう(生徒が混乱する)可能性があると思われる。そもそも、「教員の時短目的」の考え方の地域移行では、生徒が置き去りにされている感じしかしない。部活動をどのようにしたいのか、根本的に考えて再構築するような新たな部活を作るようなイメージが必要。それに伴い、「楽しむためにやる」のか、「勝つため」にやるのかなど、個々の目的・目標に応じて細やかな対応ができるようにも考えてほしい。
- ② 複数選択の可否なども要検討。移行期間は3年になっているが、早期移行ができるなら平日の部活移行も早めに行えることが望ましい。
- ③ やれる所からやれる競技からすればよいと思う。できない競技は他地区のある所への参加を考えればよい。全ての種目を地域内でする必要はない。保護者や地域がやらせたいスポーツや活動があれば地域の人がやるのが望ましいと思います。

(5) TOBA EAST Jr (バレー)スポ少

地域に移行する場合、指導者の職業によっては土日に休みが取れない方もいる。土日ばかりを検討するのではなく、平日の活動も視野に入れ検討しなければならない。

(6) 極真空手 (スポ少)

- ① 仕事をしているので、休日だけ毎週となると無理だと思う。課題だらけ。
- ② 指導者の指導する意欲が最も必要。特殊なスポーツであるため専門的な知識を持ったものが少ない。
- ③ 鳥羽で就職先が少ない。
- ④ 練習場所の確保も難しい、、現状では練習場所の経費も掛かることから、経費捻出を保護者に求めている。道具および大会参加経費の負担も大きい。

(7) 軟式野球連盟

地域移行については賛同するが、行政主導でリーダーシップを発揮してやっていただきたい。

(8) 鳥羽第一野球スポ少

- ① 現在、軟式野球では部活動とは別にスポ少を卒団した生徒を中心にクラブチームを発足して活動しています。通常部活動では物足りなさを感じる生徒もいると思います。小学生時に一緒にやっていたメンバーがそのまま集まって活動することでより一層、大会での好成績や野球人口の確保が期待できます。
- ② 部活動の地域移行については賛成です。最終的にはクラブチーム化した活動が理想だと考えますが、指導者の確保などたくさんの課題がありますので、私たちスポ少側もできる限りの協力はしたいと思っています。

(9) レスリング協会

- ① 部活動の地域移行は、単に専門的な技術を教えるだけでなく、トレーニング法、ケガへの対応等これまで以上に地域団体(指導者)の自覚が必要。指導者は教育の一環であるという意識をもって、活動していく必要がある。
- ② 教員が指導できるようになること(兼業兼職か?)は大変いいことだと思う。この場合も教員=有資格者ではないため、スポーツ指導における資格取得も必要だと考えます。
- ③ 生徒へのケガの保険だけでなく、指導者の賠償保険についても、学校部活動での事例も参考にして、協議が必要だと思います。特にボランティア指導ではなく、地域部活動に位置づけられ、有償で指導する場合はこうしたリスクも想定する必要がある。
- ④ 地域部活動として大会に参加した場合の旅費は必須であるが、どの程度まで部活動なのかを明確にしておく必要がある。また、用具購入費も必要になってくるが、保護者や学校区の地域の方から支援を受けられるように環境を整えていった方がいい。市の支援体制が厳しいと受益者負担が大きくなり、経済的な理由で部活動をしない生徒が出てくるように思う。

(10) 鳥羽 Jr レスリングクラブ (スポ少)

- ① まずは休日だけであるが、平日のことも考えると夜間も含めて考えていかないと指導者確保は困難。部活動であることを忘れず、部活動ガイドラインに沿った活動ができる団体が、地域部活動に位置付けられるべきであると思う。指導者は「それでは強化ができない」など様々な意見はあると思うが、部活動の意味をしっかりと地域団体(指導者)のみなさんに理解をしていただく必要もあると思う。
⇒ 最低1年に1回は生徒や保護者にアンケートを実施する。(チェック機能が必要)
- ② 指導者への謝金は少額でもあった方がいい。謝金をいただくことで指導者の意識も変わる。

(11) サッカー

鳥羽市は小学校1、中学校1、高専1のチーム数で、小学校以外は教員が指導しています。小学校の指導者も有資格者2名のギリギリの体制であり、中学校と掛け持ちでできる目途は立たない。

(12) サッカースポ少

サッカーに関しては年間を通したリーグ戦化が進んでおり、少年の部と中学校の日程調整が必要。個人的には時間の合う限り部活動のお手伝いをさせてもらえればと思っています。

(13) 鳥武館柔道 (スポ少)

学校部活動の地域移行についての考え方は、学校の先生方の負担軽減が目的であったと思われるが、地域団の活動においても指導者は自分の仕事もしながら、家庭より団活動を優先して子どもたちの指導を行っている。学校での部活動が先生方に負担がかかるから地域活動へ移行させたらよいという考え方ではなく、いろんなアイデアを参考にして、学校側で考えていくことを検討してみてはいかが？

(14) スポーツ推進委員

平日の部活動と休日の指導者の連携が必要。生徒の立場から地域への移行をもっと考える必要がある。

(15) スポーツ推進委員

まずは指導者の確保が一番の課題だと思う。現状では難しいのでは？

(16) スポーツ推進委員

先生の負担を減らすため、地域移行は必要なことだと思いますが、指導者の確保が難しいと思います。指導者さえ確保できれば、後の細かいことはすり合わせて進めていけると思います。

(17) スポーツ推進委員

- ① 小中学校の教員の皆さんが、今後も主に活動していただくのが現実的と今は思っています。先生方の働き方改革を進めていく中で、他の指導者とも連携していただけるかどうか、鳥羽市なりの運動と文化クラブを続けられるように進められるか？
- ② 教員の残業問題もまともな状態に早く解決し、先生方の働き方改革や子どもたちのスポーツ、文化活動の在り方も国が先を見て考えることが大切だと思う。

(18) スポーツ推進委員

関わる方、全てが無理のないようにお願いしたい(学校、指導者、生徒、保護者)

(19) スポーツ推進委員

鳥羽市の場合、離島と本土では状況が違う。一律に進めていくことは難しいと思う。できるところから、出来る形と考え、進めていくのが現実的ではないか？

(20) スポーツ推進委員

課題が大きすぎて頭が回りません。とりあえず休日から始めてということなのでしょうが、どこが(どの団体が)どのような受け皿になって運営するにしても、相当の準備がいる。相手は人間ですから、しかも多感な時期の一人一人の個を教育的観点で見守ることができるのか？ただ、技術を教えればいいということではないはず。それに責任重大です。ケガ等の対応で保険のことが書いてありませんが、大事なのは応急処置であり、休日に病院は開いていません。そのことを第一義にして検討していただきたく思います。

(21) スポーツ推進委員

競技によっても指導者が確保できる、できないが生じるだろう。バランスをどう保つか？週末の勤務形態はどうなるのか？(公式戦だと学校管理下扱いはどこまでできるのか？) 全員部活制はもうできない。地域にも何らかの受け皿の組織が必要になってくるのではないか。

キーワード

1. 指導者の人材確保が難しい。(指導者資格はどうする？ 教育的観点をもってできるか？部活動ガイドライン)
2. 責任の所在はどこ？
3. 生徒の立場からもっと議論すべき。
4. 保険、会費、会計事務業務負担
5. 休日だけでなく、平日もセットで考えて⇔休日のできるところから始めてうまくいけば平日へと進めばいい。
6. 平日は夜間も含めて考えれば、人材確保できる。
7. 費用は？ 補助は？
8. 「楽しむ」部活動なのか？ 「勝利」を目指す活動なのか？

鳥羽市部活動検討委員会スケジュール

R4.10	R5.2	R5.5	R5.7	R5.9	R5.10	R5.11
1回 ● 検討委員会のねらいや国等の動きについて説明 ● 年間スケジュール ● 意見交換	2回 ● 保護者アンケート内容の確認 ● 教員・地域団体のアンケート結果及び課題を協議	3回 ● 保護者アンケート結果及び課題 ● 国の提言及びアンケート結果での課題を協議	4回 ● 保護者への支援について ● 補助金等予算のについて ● 地域部活動推進協議会について	5回 ● 鳥羽市部活の在り方に関する報告書(案)について	6回 ● 鳥羽市部活の在り方に関する報告書(案)について 10月定例教育委員会	7回 ● 鳥羽市部活動方針(仮称)決定版について ● 次年度の事業と予算編成について

➤部活動の地域移行に係る効果と課題

効果

生徒

学校

地域

課題

生徒

学校

地域

メモ